



ギリシアRGCCがん遺伝子検査ラボ ニュースレター 【前立腺がんにおける治療結果のフォローアップツールとしてのCTCsの価値】

Eur Urol. 2016 Jun 8

Decline in Circulating Tumor Cell Count and Treatment Outcome in Advanced Prostate Cancer.

(循環腫瘍細胞数のカウントの減少と進行前立腺がんの治療結果)

Lorente D, Olmos D, Mateo J, Bianchini D, Seed G, Fleisher M, Danila DC, Flohr P, Crespo M, Figueiredo I, Miranda S, Baeten K, Molina A, Kheoh T, McCormack R, Terstappen LW, Scher HI, de Bono JS.

論文要旨

背景:

去勢抵抗性前立腺がん(CRPC)の治療への反応を見るバイオマーカーが、緊急に必要なになっている。ベースラインでの治療後の循環腫瘍細胞(CTC)数のカウントで、 ≥ 5 細胞/7.5mlであることは、CRPCの予後不良と関係している。

目的:

治療への反応の指標として、CTCが $\geq 30\%$ 減少した時の値を求める。

研究デザイン、設定、被験者:

ベースラインでのCTCカウント数が、 ≥ 5 細胞/7.5mlの患者を選別して、2種類の前向き試験での治療後のCTC数のカウントを評価した。

治療介入:

患者には、COU-AA-301(化学療法後にアビラテロン)とIMMC-38(化学療法)試験が処方された。

結果判定と統計解析:

3つの重大事点(4週間、8週間、12週間)での、単変量と多変量のCox回帰モデルを使用して、治療後の $\geq 30\%$ のCTC減少と、生存との関係が評価された。

受診者動作特性曲線下面積(AUC)とc-インデックスを計算する事により、モデル性能を評価した。

結果:

全体で486名の患者(122名はIMMC-38で、364名はCOU-AA-301)が、CTCカウントが、ベースラインで ≥ 5 細胞/mlであり、4、8、12週で、それぞれ、440名、380名、そして351名を測定できた。単変量解析と多変量解析で、30%のCTC減少は、4週間(危険率[HR]0.45、95%信頼区間[CI]0.36-0.56;p<0.001)、8週間(HR 0.41、95%CI 0.33-0.53;p<0.001)、そして12週間(HR 0.39、95% CI 0.3-0.5;p<0.001)での生存の増加と関係していた。CTCカウント数が減らない症例(<30%減少ないしは<30%増加)は、CTCカウント数が増加した症例と比較すると、生存利益と関係がなかった。治療後の30%CTC減少と生存との関係は、ベースラインでのCTC数のカウントとは無関係であった。CTC減少によって、全採血時点でのAUCが、有意に改善されている。最後に、COU-AA-301試験で、CTC ≥ 5 細胞/7.5mlの患者と30%CTCが減少した患者は、両治療群で類似した全生存であった。

結論:

最初のカウントが、 ≥ 5 細胞/7.5mlから、治療後に30%CTC減少は、アビラテロンと化学療法についだ全生存が、独立にCRPCと関係しており、治療後4週間の多変量モデルのパフォーマンスが改善された。この潜在的なサロゲートは、前向きに評価されなければならない。

概要:

循環腫瘍細胞(CTCs)は、前立腺がん患者の血液中に検出されるがん細胞である。我々は、2つの大規模臨床試験で、アビラテロンと化学療法で、治療された後のCTCsの変化を分析し、CTCカウントが減少した患者の方が、より良い生存結果を示す事を発見した。

各位

R.G.C.C. 社ニュースレターのアブストラクトの訳を配信致しました。
原文をご希望の際はお申し付けください。

会員向けの無料配信がございます。

<https://www.rgcc-group.com/index.php?page=newsletter>

にてお名前とEmailアドレスを入力の上、ぜひご登録をお願い致します。

ここに登録頂きますと、以下の情報が配信されます。

- ・ R.G.C.C.社ラボとコンタクトを持つ世界中の医師からの質問とそれへの返答内容。
- ・ 世界中のがんの専門医から寄せられる論文、治療の手法、意見、アイデア、CTCにかかわる世界の学会情報などの共有。
- ・ R.G.C.C.社ラボにおけるCTC、CSC、天然成分由来の抗がん治療製剤開発などにかかわる最新情報の配信。
- ・ CTC、CSCに基づき治療された患者群のフォローアップ統計の推進(これは再検査の際に提出される患者フォローアップシートへの記入がもととなりますので、ぜひご協力のほどお願い申し上げます)。

以上ですがぜひ、このサークルを広め役に立つ情報の共有を推進したくご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

株式会社デトックス